

議 事 概 要

会議名	第 1 8 回 海津市地域公共交通会議
日時	令和元年 6 月 2 1 日（火） 1 5 : 0 0 ~ 1 6 : 2 0
場所	海津総合福祉会館ひまわり 2 階 研修室 2
出席者	委員 2 3 名 事務局 5 名 (株)ティコク 2 名
傍聴人	1 名
議題等	報告 1 これまでの経緯と今年度の業務目的について 報告 2 令和元年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（計画策定事業））交付決定について 議題 1 令和 2 年度生活交通確保維持改善計画（案）について 議題 2 市民アンケート・地区別意見交換会の実施について その他

協議・報告事項

【報告 1】 これまでの経緯と今年度の業務目的について

○事務局から説明（資料 1 に基づき説明）

- ・ これまでの経緯と今年度の業務目的について

○委員からの質問・回答、意見等（→事務局回答、⇒他委員回答）

- ・ この計画の中で、上位計画に合わせるということですが、逆に都市計画だとかまちづくり等の上位計画のほうに戻して、検討することがあり得るのではないかと。そういうところまでは議論をしないのか。現状のままの網計画だけでなく、こういう課題があるのももう少し上位計画のほうで練ったり、考えてもらった上で、一緒に考えるみたいなことも起き得るのではないかと思いますので、いかがでしょうか。

→上位計画にあたる例えば総合計画の中で施策のほうは練ります。その中でも主要な施策等は位置づけをし、その過程の中で起きている諸問題等は当然踏まえていきます。

【報告 2】 令和元年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通事業（計画策定事業））交付決定について

○事務局から説明（口頭にて報告のため、資料なし）

- ・ 令和元年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通事業（計画策定事業））交付決定について

○委員からの質問・回答、意見等

- ・ 質疑等なし

【議題 1】 令和 2 年度生活交通確保維持改善計画（案）について

○事務局から説明（資料 2 に基づき説明）

・令和2年度生活交通確保維持改善計画（案）について

○委員からの質問・回答、意見等（→事務局回答、⇒他委員回答）

- ・この資料は、補助金をもらうための資料で、この資料に沿って何か出さないと、最終的に補助金のアウトプットは得られないというのはわかるのですが、最初にありました令和8年度までの計画を立てるという、本来の目的がどっちかわからないのですけれども、地域交通をどうしたらいいかという議論は、これにとらわれるのか、これはこれでそっちをやるというのか、教えてほしい。

→こちらの事業のものにつきましては、令和元年の10月から令和2年の9月までに行う内容になります。今年度の網計画の策定については、令和2年から令和8年度までのものについて協議、検討していただくということになり、こちらに書かせていただくのは、単年度、1年間の間でこういうことをやっていきますという内容について、国のほうから補助金をいただくということになっております。

- ・網形成計画とこの計画が並行して動くのか、切れて動くのか。これはこういうのでずっと走って、8年度までの大きな計画をきちっと立てるのかどうかかわからない。

→令和2年度の生活交通確保維持改善計画というものは、これは毎年確認していくもので、最初に申しました地域公共交通網形成計画については、令和2年から8年という大きな計画を立てるものでございます。そして、結果的には並行していくわけでございます。

- ・理屈はわかるのですが、例えばこういう会議の中で、どちらの話をしているのかわからない。そこを明確に、常にこれの会議の話だけをしているのです、こっちの話をするので、今後やっていただければわかると思うのですけれども、そのどっちをやっているのかどうか、ピント外れな質問を前回、確実にしたと思うのです。8年間の大きな話をどうなのですかと聞いているのに、こちらの話の回答だけだったと私は感じています。ほかの方の意見をもしここで出していただければ、もう少しはっきりするかもしれない。

→議題1につきましては、この資料の計画に関してのご説明でございます。これは大きな計画、地域公共交通網形成計画、この中の一部と申しますか、その単年度の計画というもので、まず改善計画の1年の取組みについてのご説明をさせていただきましたところでございます。

⇒地域公共交通会議の役割として、計画を議論して承認をするという役割があり、その一つとして、単年度のこの令和2年度の生活交通確保維持改善計画、この計画もこの会議で承認しなければいけないということで議論している。解決できる課題をこの年度、単年度で解決しましょうというような計画で、この計画としてご意見をいただいて議論をするということで、ご理解いただきたい。

また、地域公共交通網形成計画は、もう一つ5年間の大きな問題なので、後ほどアンケートとか、地区別意見交換会というような細かいところに入っていくわけですが、これはこれだけという、議題1の計画については、お手元の資料2のものにつ

いて議論をいただくということでご理解いただければと思う。

○原案どおり承認

【議題 2】 市民アンケート・地区別意見交換会の実施について

事務局： 資料 3、資料 4 及び市報 7 月号特集原稿についての説明

○事務局から説明（資料 3、資料 4 及び市報 7 月号特集原稿に基づき説明）

- ・市民アンケート・地区別意見交換会の実施について

○委員からの質問・回答、意見等（→事務局回答、⇒他委員回答）

- ・提案ですけれども、このアンケートはバスからバスとか、バスからタクシーというのあまり想定されていないような移動手段の書き方をしていると感じましたので、それを入れていただくと、ニーズがわかりますので、一回ご検討していただけたらと思います。
→再度こちらのアンケートの内容について詰めさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

- ・このアンケートは非常に大事だと思っておりますし、地区別の会議、これも非常に重要なことだと思っていますので、しっかりと検討していただいて実施いただきたいと思います。日時を早く決めていただき、早めに案内して、関心を持って来ていただくよう自身から皆さんに発信していきたいと思っています。

→早期に時間、それから場所を周知できるように準備を進めさせていただきます。市報で掲載する、もしくは自治会での回覧のほうにも入れさせていただくということで、この意見交換会の開催について周知をさせていただきたいと思います。

今回市報の特集を作りましたが、いま現在の市の状況だったり、市がどれくらい公共交通について費用の負担をしているのかということに掲載させていただきます。さらに 8 月に意見交換会ということで、公共交通を数回に分けてこれから周知をしていくということで、相乗効果というものも狙っておりますので、そこ辺もご理解のほうよろしく願いいたします。

- ・アンケートは 15 歳以上の方の限定ということですが、スクールボランティアで子どもたちと一緒に学校まで登校したり、帰りも時々一緒に帰っているのですけれども、小中学生というのはすごい夢を、とんでもない夢を語ることがある。学校単位、あるいはクラス単位でもいいですけれども、子どもたちにとっての海津の夢の交通網とか、そんなようなものの絵を描いてもらって、公共交通に関する関心を持っていただくという方法はどうか。

→今後、検討させていただきます。

- ・アンケートの内容について、細かいことかもしれませんが、例えば「日常の生活行動についてお聞きします」という欄の通院のところで、病院の名前に西美濃厚生病院を入れ

ていただけたらと思います。

それとデマンドバスのアンケートの中で、「値段を上げたらとか、ゾーンを狭くしたら使われますか」というようなアンケート項目ですが、利便性からいくと非常に悪くなり、「悪い状態でもあなたは使いますか」という問いかけは、責任を放棄するようなことをお聞きしているような形になりますので、逆に、現在 300 円を 200 円とか、あるいは 100 円にしたときに、それでゾーンは狭くするけれども、値段を安くしますからどうですかというような書き方、すると「値段を安くすると予約がとりにくくなるから使うのをやめますよ」というような意見も出てくると思う。ですから、そういうような形のご意見で聞いていただけるとありがたいと思います。

それともう一つ、デマンド交通ですが、現在、養老町と輪之内町が海津市内で乗り入れています。西美濃厚生病院について、養老町のデマンドバスを使って西美濃厚生病院へ行かれる方がみえるのです。私は美濃津屋駅でその方にお会いしたのですが、このように海津市内のデマンドバスだけじゃなくて、養老町、輪之内町のデマンドバスを使っている方のご意見もとることができたらと思うのですが、そこらあたりいかがですか。→2 ページ目の通院、こちらのほうに西美濃厚生病院を入れさせていただきたいと思っています。

また、デマンド交通というものの考え方ということで、当初はゾーンの中で短い距離を運行ということでスタートし、その後、いま海津市内どこでも行けるという状況の中で、費用負担がすごく増えてきているというのは事実でございます。それは、こちらの「海津市コミュニティバスの状況」の一番下のところで「利用者 1 人あたり市負担額」というところが現状でございます。デマンド交通に関しましては、1 人あたり 2,080 円費用がかかっているということから、このデマンドバスというものについて、今回見直し、検討をしていけなやいけないというふうに考えております。

例えばここに描いてございますゾーン 1、2、3 のパターン、そういったゾーンをつくり運行していくということも考えたところですが、しかし、ご提案がありましたように、この設問につきましては、持ち帰りまして、検討を入れさせていただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

- ・お金のところですけども、お金が書いてあるということは、やめたいという意味もあると思うし、安くしてもっと増やしていくのかという意味決定をしたいというようにみえるのですけれども、もしそうなら、やはりどこかの時点で幾らまでなら維持すべきなのか、デマンドバスじゃなしにコミュニティバスも含めて、幾らまでなら維持したほうがいいのか、維持したらいけないのか、「もっと改善しないとなくなりますよ」というような考え方というのもあると思うのです。それは、このアンケートとは別に、これを出したからには、それを受けてどうするかという準備をしておかないと、使う人はどんどん便利で安くしてくれと、使わない人は要らないよという人もいると思うので、何かその意思決定の準備が要るのではないかというのが一つ。

3 ページのアンケートで、「利用していない方にお聞きします」というところで、「行きたいところへ行くバスがないから」、「目的地から停留所が遠いから」というのが利用しない項目にあるのですけれども、それを受けた利用条件で、行きたいところがあれば

行くのかどうか、行きたいところを括弧で書いてもらうぐらいだと丁寧かな、何か参考になるのかなというのは思いました。

平田町とか海津町の方で、名古屋に通っている方というのは、名鉄を使っていると思う。ここの中に名鉄というのがないので、津島線と、それから竹鼻線、JRになると新幹線も含むのですが、その辺、ここへ表記したほうがいいのではないかなと思うのですが、どうですか。

→1点目の公共交通、バス等についての、例えば事業費における事業採択をしていく、やめる云々という、そういったことについて準備をしておくということについては、いろいろな施策上、すぐこうするということは言えませんので、持ち帰らせてください。

2つ目の3ページでございますか、利用条件の中に「どうしたら使いますか」という部分について、行きたいところを具体的に書いていただくという回答の仕方に調整します。

3つ目の主に旧平田町の方たちが利用する手段としまして、名鉄を利用している方の回答についても調整します。

- ・4ページの「デマンド交通を利用していない方にお聞きします」の「条件がどのように変われば、デマンド交通を利用したいと思いませんか」という項目の中に、相互乗り入れみたいな形で、「愛西市なり津島市等までコミュニティバスやデマンドバスを利用できるようにしたら利用しますか」というような項目を入れたらどうかと思うのですけれども、検討していただきたい。同じような形で三重県の多度駅まで行けるような形にいただけると、逆に、三重県なり愛西市からも乗り入れてもらってということになれば、非常に行き来が楽にできるようになると思います。

5ページ「養老鉄道の利用についてお聞きします」の中の利用条件というところに「駅へのバスのアクセスがよくなれば」という項目がありますが、このアクセスという言葉の中に乗り継ぎ時間も含まれるというふうに解釈してもいいですか、

→1点目の海津市に対して、海津市以外の他市町との連携ということに関して、4ページの中の利用条件、こちらのほうに追記します。

5ページの利用条件、「駅へのバスのアクセスがよくなれば」ということで、乗り継ぎについても含むというふうに考えます。

- ・3ページで海津市コミュニティバスと名阪近鉄バス海津線の利用について、同じところでこうしたら利用していくというふうに聞いていらっしゃると思いますが、コミュニティバスは海津市さんで決められることで、あと改善となるとほかの市町との関連性もあると思いますので、可能であれば分けて聞いてもらったほうが、今後の見直しに使っていただけるのではないかなと思いますので、よろしくお願いします。

→検討させていただきます。

○意見を反映することで承認

その他

○事務局から説明（専門部会についての資料に基づき説明）

○委員からの質問・回答、意見等

- ・専門部会を設置されるときにぜひ、タクシー会社を巻き込んで「ライド&シェア」、わかりやすく言うと「白タク」のようなものですが、「ライド&シェア」という考えを持ち込んだらどうかと思うのです。一度そのあたりをよく検討していただきたいです。

閉会